

# 中国語母語話者日本語学習者の 受身誤用分析

——日本語学習歴1年未満の学習者を中心に——

史 兆 紅

Analysis of passive errors by Chinese native speakers learning Japanese:  
Focusing on those with less than one year of study

**Abstract:** This paper investigates passive errors among a corpus of Chinese speakers who have been learning Japanese for less than one year. Non-use and over-use of the passive are classified under four terms: lack of passive use, non-use, excessive use, and misuse. The distribution of errors was as follows: Lack of the passive use accounted for 55% of errors; non-use of the passive accounted for 20%; excessive use accounted for 18%; misuse accounted for 7%. Omission of “reru-rareru” accounted for 75% of the errors was stood out. Misuse of the passive verb, at about 27%, was one of the elements of passive errors. The causes of errors were identified as differences in subject recognition of Chinese and Japanese, differences of perspective and ideas, differences in the segment of the syntax, and the learners’ short length of study.

**Keywords:** passive, errors, Japanese learners

## 0. はじめに

本研究は、中国における日本語学習者の受身誤用の実態を把握するためのものであり、特に日本語学習歴1年未満の誤用総合分布状況を明らかにすることを目的とする。

## 1. 研究方法

### 1.1. 研究の立場

これまでの日本語の受身誤用研究は、特に日本における受身誤用研究は、研究対象を母語話者別になされたものが少ない。また、中級学習者などある段階の学習者を対象とするもの、あるいは学習レベルを問わず各学習段階を

混ぜて分析するものである。個別言語で、日本以外の国で学習する外国語としての日本語の受身誤用を学習歴別で行った考察は管見の限り、まだ見つからない。また、同じ母語話者であっても、少人数からのアンケート調査や作文、宿題から収集された誤用データを研究対象とするのが誤用研究の主要方法となっており、本研究の誤用データは大規模誤用コーパスを利用するもので、それらとは段階的に、且つ規模的に異なる。

本研究は、日本語対象国の日本にいる第二言語としての日本語学習者ではなく、中国の大学における外国語としての日本語を専攻とする中国語母語話者である日本語専攻生を研究対象とする。

## 1.2. 研究用受身文誤用データについて

『YUK タグ付き中国語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.3 (テキスト版)<sup>1</sup>の中の「受身誤用データ」として集められた「れる・られる」誤用例文は1147例ある。その受身文誤用データを学習歴別に分け、その中の初級レベルに当たる学習歴が1年未満の学習者の受身誤用例文を取り出して、それを研究対象とする。詳しくは次の表のようになる。

[表1]: 受身文誤用データ

日本語学習段階	日本語学習歴	「れる・られる」 誤用例文産出対象	「れる・られる」 誤用例文数
初級	3ヶ月以上～1年未満	学部1年生	65例

この65例の受身誤用文には、構造から見れば「れる・られる」の誤用文であるが、意味から見れば受動文のほか、自発文はないが、可能文、尊敬文が含まれている。受身意味の誤用例文は44例あり、その他は21例ある。よって、「れる・られる」の誤用例文には受動意味の受身文が68%を占めており、可能、尊敬文は残りの32%を占めていることが分かる。「れる・られる」の意味による誤用例文の詳しい分布は[表2]のようになる。

[表2]: 「れる・られる」の意味による学習歴別誤用例文分布

日本語学習段階	日本語学習歴	受身文誤用例文数	可能文誤用例文数	自発文誤用例文数	尊敬文誤用例文数	合計
初級	3ヶ月以上～1年未満	44	17	0	4	65

本研究は [表2] にある 44 例の受身誤用文を調査対象とする。誤用の産出対象は中国の大学に在学している日本語専攻生の学部 1 年生である。

## 2. 調査の結果

日本語学習歴 1 年未満の日本語学習者受身誤用例文 44 例を整理して、その受身文誤用文の誤用類型をまず次の 2 種類に大きく分ける。

- (1) 受身の不使用
- (2) 受身の過剰使用

この 2 種類の中で、(1) (2) は動詞の要素も含めて考えるとさらにそれぞれ「受身文の欠用」、「受身文の非用」と「受身の贅用」、「受身の謬用」と分けられる<sup>2</sup>。つまり、次の [表3] のようになる。

[表3]: 受身文誤用類型 (日本語学習歴 1 年未満)

一般的分類		本研究の分類	
2 分類法	誤用→正用	誤用の 4 分類	
1. 受身の不使用	○→受身	1. 受身の欠用	V + ○
		2. 受身の非用	× + ○
2. 受身の過剰使用	受身→○	3. 受身の贅用	V + ●
		4. 受身の謬用	× + ●

注: 表にある記号について

1. 一般的分類: ○=受身マーカー「れる・られる」がない形態。

「→」について: 「→」の左側は「誤用形態」で、「→」の右側は「正用形態」である。

2. 本研究の分類: 受身=「V」+「れる・られる」

○=「れる・られる」の不使用

V=動詞の正用

●=「れる・られる」の過剰使用

×=動詞の誤用

つまり、次の [表 4] のように動詞の正誤による分類ができる。

[表 4]：本研究の 4 分類法と 8 分類法

受身形式の誤用形態 (8 分類法)			
誤用形態	動詞 + 「れる・られる」	誤用形態の細分化	
(1) 欠用	動詞の正用 + 「れる・られる」の脱落	①(V + ○)	動詞の正用 + 「れる・られる」の 不使用
		②(V + ○ + α)	動詞の正用 + 「れる・られる」の 不使用 + 他の誤用
(2) 非用	動詞の誤用 + 「れる・られる」の脱落	③(× + ○)	動詞の誤用 + 「れる・られる」の 不使用
		④(× + ○ + α)	動詞の誤用 + 「れる・られる」の 不使用 + 他の誤用
(3) 贅用	動詞の正用 + 「れる・られる」の添加	⑤(V + ●)	動詞の正用 + 「れる・られる」の 過剰使用
		⑥(V + ● + α)	動詞の正用 + 「れる・られる」の 過剰使用 + 他の誤用
(4) 謬用	動詞の誤用 + 「れる・られる」の添加	⑦(× + ●)	動詞の誤用 + 「れる・られる」の 過剰使用
		⑧(× + ● + α)	動詞の誤用 + 「れる・られる」の 過剰使用 + 他の誤用

注：α = 他の誤用（動詞の誤用・「れる・られる」の誤用以外の誤用形式の集合）

収集した誤用例文 44 文をさらに分類してみても、[表 4] の 8 分類の⑧がないことが分かった。それで、次の [表 5] のような 7 種類の誤用が統計できた。

[表5]：受身誤用全類型と誤用例文数統計（日本語学習歴1年未満）

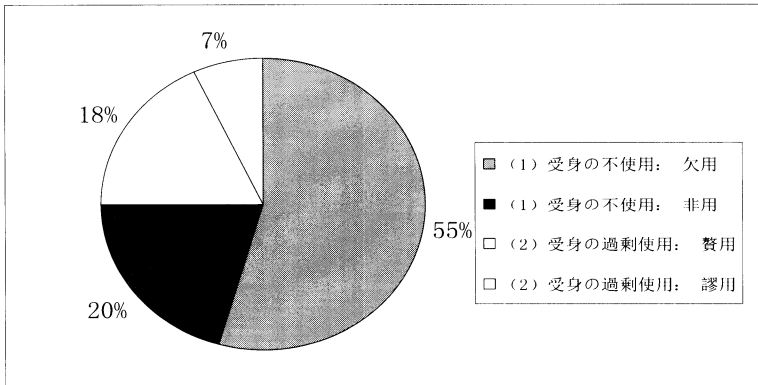
受身の誤用類型と誤用例文数統計（日本語学習歴3ヶ月以上～1年未満）					
受身誤用類型		αの形態		誤用例文数	
不使用	1. 欠用	V + ○		14	24
		V + ○ + α	テンス・アスペクトの誤用	9	
			(V + ○ + 「名詞的修飾 + 「テンス・アスペクト」) の欠用	1	
	2. 非用	× + ○		4	9
		× + ○ + α	テンス・アスペクトの誤用	3	
			補助動詞 + テンス・アスペクト	1	
(述語 + ○) の不使用			1		
過剰使用	3. 贅用	V + ●		3	8
		V + ● + α	V + ● + テンス・アスペクトの誤用	3	
			V + ● + 可能の非用	1	
			(V + ●) の過剰使用	1	
	4. 謬用	× + ●		3	11

注：α = 「れる・られる」の誤用と動詞の誤用以外のその他の誤用

上の [表5] の誤用例文数を見てみると、「不使用」は33例で三割を占めており、「過剰使用」は11例で「不使用」の三分の一弱くらいになっていることが分かる。44例文中「欠用」が最も多く24例あり、誤用例文の半分以上となる。その次に多いのは「非用」と「贅用」のそれぞれ9例と8例で、「謬用」は3例ある。誤用の多い順は「欠用」>「非用」>「贅用」>「謬用」となっている。その中で、「欠用」が一番多く、ほかの三種類をかなり上回っており、最も多い誤用形態になる。受身の不使用と過剰使用のほかに、「テンス・アスペクト」の問題も目立ち、17例あり、全体の39%を占めている。動詞の誤用は「謬用」「非用」のどちらにでも出ている問題で、12例で27%程度にとどまり、誤用が出る要素の一つであろう。

これで、日本語学習歴1年未満の受身誤用は「受身の欠用」に集中しており、受身の不使用(欠用と非用)が受身誤用の特徴と言えよう(図1を参照)。

図1：受身誤用類型分布図（日本語学習歴1年未満）



上の分析から分かるように、1年未満の受身誤用の分布は4種類に分けられ、しかも主に(1)に集中していると言えよう。「受身の欠用」が55%で最も多く、次に多いのは「受身の非用」と「受身の贅用」でそれぞれ20%と18%で、二割程度となっている。受身の欠用と非用を合わせると全体の75%になる。「受身の謬用」は7%である。つまり、受身マーカー「れる・られる」の不使用の誤用は4分の3となっており、1年未満の学習者の誤用形態の大部分となっていることが言えよう。その中で、「受身の欠用」は最も顕著な誤用類型であり、「受身の非用」と「受身の贅用」はそれに次ぐ誤用類型であろう。

次は、1年未満の受身誤用例文を用い、誤用を〔表5〕の4種類の誤用類型に沿って、詳しく分析する。44の誤用例文を分類ごとに全部列挙する。

### 3. 調査結果の分析

#### 3.1. 受身の欠用

〔表6〕：受身の欠用の誤用形式（1年未満）

誤用の形態		$\alpha$ の形態	誤用例文数
欠用	$V + \bigcirc$		14
	$V + \bigcirc + \alpha$	テンス・アスペクトの誤用	9
		(「名詞的修飾+「テンス・アスペクト」)の不使用	1

## ① V + O

- [1] それから、いろいろな活動が開催〈します→されます〉。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(154))
- [2] サークルではいろいろな活動が開催〈O→されます〉。(男/学部1年/学習歴半年/作文0001(41))
- [3] 11ヶ月の間、たくさんの発表会が〇〇大学で〈開催しました→開催されました〉。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(29))
- [4] 4年前、学校でバスケットボールゲームが開催〈しました→されました〉。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(115))
- [5] 学校でときどきいろいろな活動が〈行います→行われます〉。サークルの活動はよく参加します。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(159))
- [6] 来年1月、彼の映画 **Bandage** が〈発表します→発表されます〉、私は絶対に見ますよ。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(5))
- [7] 渡辺博子の新しい恋はすべてが集まってすばらしくまた始まっていることが説明〈しました→されました〉。(学部1年生(上)/学習歴半年/滞日0/作文0005.)
- [8] あの母子3人がまた登場した。この物語には本当に感心しました。一杯のかけそばと北海亭の細君の祝福と激励〈した→された〉母子3人の、その民族の精神である。もっとも反映した人間のぬくもりを感じた。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0006)
- [9] 難しい生活だったのでその性格がだんだん形成〈しま→されま〉した。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0013)
- [10] これは内容が豊富で、とても誘〈O→われ〉ました。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0023)
- [11] 町の周りに、漢代に〈建て→建てられ〉た城壁が今もちゃんとあるのです。(女/大学1年/学習歴1年/滞日歴0年/自己紹介/0034)
- [12] 古今を通じて多くの青年の男女の心の扉を叩き、多くの優美で感動させる文章が〈作りました→作られました〉。梁山伯と祝英台、ロミオとジュリエットなどの一つ又一つの素晴らしい愛情のストーリー。(男/大学1年/学習歴1年/滞日歴0年/作文/0083)

[13] でも、その夜に、私は急にルームメートに連れ〈○→られ〉て外に行きました。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(23))

[14] 辛い物とお酒が好きです、でも良い学生と〈言う→言われる〉ならそれらはなくてもいい。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0122.)

[1]–[12]は無生物主語(非情主語)であり、[13]、[14]だけが有情主語であることから、学習者は非情主語の受身文を好む傾向が見られる。非情主語なので、述語部分は受身にならなければならないが、能動文のままの述語になっているのが誤用の特徴となる。学習歴が3ヵ月や半年の学習者はこの用法にまだ慣れていないことが推測できるであろう。また、無生物主語の受身文は中国語では受身文の代わりに能動文を使うのが普通なので、母語の用法をそのまま日本語に代用し、負転移になってしまう可能性が大きいと思われる。同様に、有情主語の直接受身文 [13]、[14] も同じことであることから学習者はまだ母語の表現方式から開放されず、自分の表現習慣がそのまま日本語に転移していることが物語る。

[1]–[14]の受身文を中国語に訳し、中日対応の傾向からその影響を見る。[1]–[14]の文をよく表現されている普通の中国語を使い、次のように訳してみる。

[1] それから、いろいろな活動が開催〈します→されます〉。

訳文：之后将举办各种活动。

[2] サークルではいろいろな活動が開催〈○→されます〉。

訳文：社团里举办各种活动。

[3] 11ヶ月の間、たくさんの発表会が○○大学で〈開催しました→開催されました〉<sup>3</sup>。

訳文：这11个月里在××大学举办过很多发表会。

[4] 4年前、学校でバスケットボールゲームが開催〈しました→されました〉。

訳文：四年前，学校举行了篮球赛。

[5] 学校でときどきいろいろな活動が〈行います→行われます〉。サークルの活動はよく参加します。

訳文：学校(里)有时举办各种活动，我经常参加社团活动。

[6] 来年1月、彼の映画 Bandage が〈発表します→発表されます〉、私は絶



対に見ますよ。

訳文：明年1月要上映他（出演，拍）的电影 Bandage，我一定会看的。

[7] 渡辺博子の新しい恋はすべてが集まってすばらしくまた始まっていることが説明（しました→されました）。

訳文：集齐了渡辺博子的全部新恋情，并说明了她又着手的精彩工作。

[8] あの母子3人がまた登場した。この物語には本当に感心しました。一杯のかけそばと北海亭の細君の祝福と激励（した→された）母子3人の、その民族の精神である。もっとも反映した人間のぬくもりを感じた。

訳文：那母子三人又登场了。这个故事让我很感动。（让我感动的是从）一碗加汁荞麦面和北海亭夫人的祝福，以及深受鼓舞的母子三人（中体现）的那种民族精神。我觉得这最能反映人间的温情。

[9] 難しい生活だったのでその性格がだんだん形成（しま→されま）した。

訳文：生活的艰苦逐步造就了他的性格。

[10] これは内容が豊富で、とても誘（〇→われ）ました。

訳文：这个内容很丰富，又非常诱人。

[11] 町の周りに、漢代に建て（〇→られ）た城壁が今もちゃんとあるのです。

訳文：城市周围至今还有汉代建造的城墙。

[12] 古今を通じて多くの青年の男女の心の扉を叩き、多くの優美で感動させる文章が（作りました→作られました）。

訳文：古今以来撰写了许多能叩开青年男女心扉的优美动人的文章。

[13] でも、その夜に、私は急にルームメイトに連れ（〇→られ）て外に行きました。

訳文：但是，那天夜里，舍友突然把我带到外面。

[14] 辛い物とお酒が好きです、でも良い学生と（言う→言われる）ならそれらはなくてもいい。

訳文：我很喜欢辛辣食物和酒，不过要是有人说我是个好学生，那这些东西没有也行。

訳文は中国語の使用習慣によるものである。[8]の「深受鼓舞」だけが受動文になり、ほかは全部能動文の方がより自然な言い方である。中国語の「受」は受身文にはなるが、受身マーカー「被」の「被害、強制的」意味と違って、往々として「よいことに影響されている」というニュアンスで使われる。こ

ここでは「被鼓舞」というより「深受鼓舞」と訳したほうがより自然になる。従って、以上の日本語の受身文は [8] も含めて、中国語の受動文「被～」に訳したら返って不自然になりがちである。よって、この類の誤用は主に中国語からの影響であることが言えよう。

[2]－[5] は同じ形「無生物主語である活動が場所で開催される（行われる）」「場所で無生物主語である活動が開催される（行われる）」の文であるので、訳すときに中国語訳文の構造と日本語の構造の違いが感じられ、その構造から誤用との関係性について少し分析してみたい。

### ◎「ある活動がある場所で開催される（行われる）」

[3] 11ヶ月の間、たくさんの発表会が〇〇大学で〈開催しました→開催されました〉。

訳文：○ 这11个月里××大学举办过很多发表会。（大学＝主語）

○ 这11个月里在××大学举办过很多发表会。（大学＝場所）

### ◎「ある場所である活動が開催される（行われる）」

[2] サークルではいろいろな活動が開催〈〇→されます〉。

訳文：○ 社团举办各种活动。（サークル＝主語）

○ 社团里举办各种活动。（サークル＝場所、範囲）

[4] 4年前、学校でバスケットボールゲームが開催〈しました→されました〉。

訳文：○ 四年前，学校举行了篮球赛。（学校＝主語）

？ 四年前，学校里举行了篮球赛。（学校＝場所）

○ 四年前，我们学校在校园里举行了篮球赛。（校庭＝場所）

[5] 学校でときどきいろいろな活動が〈行います→行われます〉。

訳文：○ 学校有时举办各种活动。（学校＝主語）

？ 学校里有时举办各种活动。（学校＝場所）

○ 校园里有时举办各种活动。（校庭＝場所）

[2]－[5] のいずれの日本語の文も動作主が背景化され、動作主の動作や意志を極力排除し、結果に注目する文でなる。この場合は「場所で活動がある」（例えば、「大学で発表会がある」）という文型と交換できるのも、その動作性

よりも存在性を強調していることを物語るのであろう。ここの「大学」「学校」は動作を行う場所として捉えられ、大学という集団行為者とは関係がないように思われる。しかし、中国語の場合になると、訳文からも見られるように日本語で「学校で」という場所を強調している部分が、中国語になると意味の違いが多少あるものの、「学校」が主語となっても、場所になっても意味が通じるという面白い現象が出る。次はその意味の違いについて分析する。

まず、中国語の「学校」「大学」のような言葉は主語にもなれるし、場所にもなれるのはなぜであろう。それは、「学校」「大学」は日本語でも中国語でも、「場所」と「人からなる集団」の二つの意味があるからであろう。

「～で～が行われる」の文型では、日本語は「で」の限定で場所だけの意味になるが、中国語は有情名詞として使われている場合もしばしばある。例えば、次のbがこれである。

- a. 明天学校有个会。(○明日学校では会議がある(開かれる))(場所)
- b. 明天学校要开会。(？明日学校が会議を開く)(動作主)

aとbは日本語ではbが成立しかねるが、中国語ではaとb両方成立し、しかも意味がほとんど変わらない。ただし、aは「学校」が場所で、主語「私」が省略され、「学校」が場所になっている言い方である。また、「明天学校里我有开会」とも言えるが、普段はaのように簡潔にすむのが多い。bは動作主「学校」が主語になり、客観的な事実を伝わる自然な文になるが、日本語の発想は常に話者を中心に話を展開するので、第三者の「学校」が文の主語になることはぎこちないことであろう。

これで、[2]－[5]の誤用文は中国語の発想のままによるものだと考えられるであろう。

ただし、この「学校で」が中国語の「場所」と「主語」の2種類に訳すことができるのは、一定の条件がある。例えば、上の[2][3]のように両方も訳せるが、[4][5]のようになると、2つの意味として使い分けられている。下のABの訳文のように、1つは「学校」が場所であると同時に、動作主でもある場合である。この時は日本語の「学校で」の部分が、中国語になると「で」に対応するものがなくなり、「学校」は場所を表すというより動作主の働きがより強く感じられ、直接訳文の有情主語に近い集団主語となる。

[4] [5] の訳文 A にある「学校举行了篮球赛」「学校有时举办各种活动」はこの例である。もう一つは [4] [5] の訳文 B のように、「我们学校在校园里举行了篮球赛」、「校园里有时举办各种活动」となり、「校园里」は場所を表し、「学校で」と対応している。この場合は、「学校」が動作主であるかどうかによってまた二つの状況を考えられる。一つは、「学校」が動作主であると同時に場所の意味合いもある場合は訳文 [4] [5] の A（「学校举行了篮球赛」「学校有时举办各种活动」）のようになる。または、[4] の訳文 B 「我们学校在校园里」のように「我们学校」「在校园里」の主語と場所を両方ささなければならぬ。もう一つは、「学校」が動作主ではなく、ただ場所だけをさす場合は訳文 [5] の B 「校园里有时举办各种活动」のようになる。この場合は、動作主がほかにあると想定され、ただ場所が「学校」となっている。[4] の訳文 C は「在」と「里」によって学校の場所の性質が決められ、かえって主語がなくなるので、非文<sup>4</sup>となる。

[4] 4年前、学校でバスケットボールゲームが開催くしました→されました)。

訳文：○ A. 四年前，学校举行了篮球赛。（学校＝主語）

○ B. 四年前，我们学校在校园里举行了篮球赛。（学校＝主語、  
校园（校庭）＝場所）

? C. 四年前，（在）学校里举行了篮球赛。（学校＝場所）

[5] 学校でときどきいろいろな活動がく行います→行われます)。

訳文：○ A. 学校有时举办各种活动。（学校＝主語）

○ B. 学校里有时举办各种活动。（学校＝場所）

また、「学校で」は [4] の訳文 C のように「在学校里」とはあまり言わず、「（在）校园里」（キャンパス内）のほうがより自然になる。これは、「バスケットボールゲーム」の性質によるもので、室外に限定しているのので、中国語では「学校」という全体概念を表す言葉は使いかねるので、学校の一部である「室外」をさす校庭（キャンパス）に相当する「在校园里」を選ぶのが普通である。

以上の分析で「学校で」は日本語ではただ場所を限定しており、動作主と関係していない。これに対して、中国語に訳すと、「学校」は動作主になれるし、場所ともなれる。また、両方を兼ねる場合もあるということが分かった。

しかし、いずれにせよ、「～が行われる」に相当する受身の部分が中国語訳文に能動のままで表現されるのが変わらない。それは、訳文に「被」を入れると強迫の意味が感じられるからであろう。

また、視点という観点から見れば、中国語は「物事に対して誰が何をする」という物事そのもの自体に注目しており、能動表現を好む傾向があるが、これに対して、日本語は常に「物事が誰によってされるか」という動作主と物事の関係性に重点をおき、特に「物事」が主語になると、自然に受身文を好んで選ぶ傾向になるのであろう。

さらに、「学校で」における助詞の限定により、「学校」は場所しか表さないという性質も決定され、「学校」が主語や動作主になる可能性を排除される結果になる。

これで、「～で～が行われる」のような文になると、日本語は自然に受身文になり、中国語は自然に能動文になることが明らかになった。よって、中国語母語話者の受身不使用、特に、受身文における「れる・られる」の脱落が分かるようになる。このように「受身の欠用」という誤用は「受身」文法からの誤りというよりも、異文化による物事の考え方や、発想の違いによるものではないかと言えよう。

次は、受身欠用誤用文に出た動詞に注目してみよう。

[表7]:「受身の欠用」1 (V+O) の誤用内容 (1年未満)

	欠用の形態	動詞	修正	動詞の種類	
[1]	開催します	開催する	開催されます	他動詞	
[2]	開催する	開催する	開催されました		
[3]	開催しました				
[4]	行います	行う	行われます		
[5]	発表します	発表する	発表されます		
[6]	激励しました	激励する	激励されました		
[7]	形成しました	形成する	形成されました		
[8]	誘いました	誘う	誘われました		
[9]	建てた	建てる	建てられた		
[10]	作りました	作る	作られました		
[11]	連れて	連れる	連れられて		
[12]	言う	言う	言われる		他動詞 (自他同形)

表7のように、動詞は「言う」だけが自他同形の他動詞となり、ほかは全部他動詞である。つまり、[1]—[14]は「他動詞の受身」の不使用による誤用で、自他動詞の誤用問題が見られないことから、動詞の問題ではなく、視点に関わる問題であることも上の分析と一致しているところであろう。

## ② V + ○ + 「テンス・アスペクト」の誤用

### テンス

[15] でも私とクラスメートに学期中に、ボランティアに参加しなさいと〈言う→言われました〉。(男／学部1年／学習歴半年／作文0001 (49))

[16] 著者岩井俊二は本の中でひとつひとつとても暖かく描いた非常に〈愛した→愛される〉ストーリーです。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0016)

[17] 最初の本が出版〈する→された〉時、私はまだ小学生だったので、まだ少し理解できなかったのですが、今はこの本の内容が分かるようになってきた。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0046)

### アスペクト

[18] この本は美しい物語が〈書き→書かれてい〉ます。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0005)

[19] 物語には2人の子どもを連れた女性が〈書きます→書かれています〉。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0006)

[20] 本のカバーの上に、「私が昔のと違っていても、でもやはりあなたのことを愛して、永遠に、最後まで。」と〈書き→書かれてい〉ます。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0043)

[21] しかし、私にも好きな本があります。それは《簡愛》と言います。この本はとても有名で、よく〈書きました→書かれています〉から、人気が本当にありますよ。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0013)

[22] 本の表紙に〈書いた→書かれている〉：「私は未来で待ってる。」「うん、すぐいつてくるよ、走ってる。」(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0039)

[23] この本はたくさんの生活の中の小さいストーリーから構成〈して→されてい〉て、意味深長です。(学部1年／学習歴半年／滞日0／作文0009)

## ③ (V + ○ + α) の不使用 (α : 「名詞的修飾」+「テンス・アスペクト」)

[24] 一番日本語には MP3 があります。〈○→書かれている〉文章全ての録音があります。この MP3 を聞きながら、私はメモを取っています。(学部1年/学習歴半年/滞日 0 /作文 0055)

[表 8] : 「受身の欠用」2 (V + ○ + 他の誤用) の誤用内容 (1 年未満)

	欠用の形態	動詞	修正	「他の誤用」の内容
1. [15]	言う	言う	言われました	他動詞 (自他同形) テンスの誤用
2. [16]	愛した	愛する	愛される	他動詞
3. [17]	出版する	出版する	出版された	テンスの誤用
4. [18]	書きます	書く	書かれています	他動詞 アスペクトの非用
5. [19]				
6. [20]				
7. [21]	書きました	書く	書かれています	他動詞 テンスの誤用・アスペクトの非用
8. [22]	書いた	書く	書かれている	他動詞 アスペクトの非用
9. [23]	構成して	構成する	構成されていて	他動詞 アスペクトの非用
10. [24]	○	○	書かれている	名詞的修飾の不使用 アスペクトの非用

②③は①と同様、「れる・られる」の欠落の問題であるが、ただ、それ以外に、動詞の「テンス・アスペクト」の問題や受身形である修飾部分の欠落の問題も見られる誤用文である。テンスの誤用とアスペクトの誤用が半々 (各 5 例) になっている。動詞のほうも①と見事に一致している。「テンスの誤用」は [15] [17] のような「る形→た形」の問題もあるし、[16] [21] [22] のように「た形→る形」の問題もあるので、時制に対する混乱が見られる。「アスペクト」の誤用は 5 例とも「アスペクトの非用」である。また、[24] は「〈○→書かれている〉文章」のように、受身文が連体修飾語になる部分が全部脱落している誤用文である。

これで、「ている」の使い方はまだ身につけられておらず、学習歴が 1 年未満の学習者にとって、「アスペクト」が学習難点の一つになっているのではないかと推測できる。

### 3.2. 受身の非用

「受身の非用」には「受身の欠用」と同様「れる・られる」の不使用の問題があると同時に、動詞の誤選択、及びその動詞のアスペクトの不使用や補助動詞の不使用という他の誤用も存在している。

[表 9]：受身の非用の誤用形式（1年未満）

非用の形態		αの形態	
非用	×+○		4
	×+○+α	アスペクトの非用	3
		(補助動詞+アスペクト)の非用	1
		動詞述語+○	1

#### ① ×+○

[25] この本は島村と？子と叶子の人間関係を描き、美しい風景が〈説明する→描写される〉ことがあります。書き込みがとてもきれいで、シーンや気分の表現が特にいいです。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0026)

[26] 恋人と一緒に桜を楽しむこと、それはロマンチックなことだ。以前、コナンのなかで銀座を見て、授業でも銀座〈を紹介した→がされた〉。それで、買い物の天国—銀座の姿をぜひ一度見たい。(学部1年生/学習歴1年/滞日0/作文0196)

[27] 桜は日本人にはなじみが深く、日本で最も有名な花でもある。アニメ・漫画の中で多くの桜が〈見える→描かれる〉。桜の花が咲き乱れているときではない。(学部1年生/学習歴1年/滞日0/作文0199)

[28] しかし、とても興味を〈そそり立てる→そそられる〉ので私は興味津津に読みました。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0028)

#### ② ×+○+「テンス・アスペクト」の誤用

[29] 「西遊記」はお経をもらうために、東方から唐僧と言う僧侶が三人の弟子を連れて西方へ行くことが〈描写します→書かれています〉。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0023)



[30] 小説に〈叙述した→書かれている〉1910年1935年まで、鳳儀の10歳から三十代半ばまでの成長物語だ。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0015)

[31] 風景、人物、動物、季節などを説明している記事では、たくさん美しい文章を学ぶどのように〈表すなる→表現されている〉文章を読むとそれぞれの場所の美しい風景があります。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0047)

③ ×+○+「動詞述語」の誤用

[32]2008年にこの本は漫画化〈になりました→されました〉。そのあと、2010年にアニメ化もされました。でも、やはり本のほうがすばらしいです。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0053)

④ ×+○+「補助動詞+テンス・アスペクト」の誤用

[33] 多くの人が「红楼梦」を研究します、そうして、だんだん〈理解なります→解明されていきます〉。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0060)」

[表10]:「受身の非用」の誤用内容(1年未満)

	非用の形態	誤用動詞	修正	「他の誤用」の内容
1. [25]	説明する	説明する	描写される	動詞の意味選択
2. [26]	を紹介した	紹介する	がされた	
3. [27]	見える	見える	描かれる	動詞の意味選択 自動詞の誤用
4. [28]	そそり立てる	そそり立てる	そそられる	動詞意味の誤理解
5. [29]	描写します	描写する	書かれています	動詞の意味選択 テンスの誤用 アスペクトの非用
6. [30]	叙述した	叙述する	書かれている	
7. [31]	表すなる	表すなる	表現されている	動詞の意味選択 アスペクトの非用 「なる」の過剰使用
8. [32]	漫画化になりました	漫画化になる	漫画化されました	動詞の意味選択 「なる」の過剰使用
9. [33]	理解なります	理解なる	解明されていきます	動詞の意味選択 補助動詞の非用 「なる」の過剰使用

[25]－[33]は全部無生物主語になる文であるのが特徴的であろう。「れる・られる」の欠落の問題は「欠用」のところの状況と同じものである。ただし、[30] [31] は受身が名詞修飾になっているが、主語はその無生物名詞であることが言えよう。

誤用の内容は①「動詞の意味選択」、②「①+アスペクトの非用」、③「①+②+なるの過剰使用」の3種類に分けられる。

- ①「動詞の誤選択」は [25]－[33] は全体にわたる誤用であるが、中では [26] 以外は「動詞の意味選択」で、動詞意味の誤選択によるものである。[26] の動詞「そそり立てる」は文中の意味に通じないので、動詞「そそる」と形が似ているから、「そそる」を間違えた誤用と同時に、「そそり立つ」の意味の不理解の問題もあると考えられる。[27] だけが「見える」という自動詞が使われている。「見える」は文法的には間違っていないが、意味的に見れば、可能表現の「見られる」との間違ひとも考えられるし、受身の「描かれる」の非用とも考えられる。つまり、動詞「見える」の誤用は「見られる」と「描かれる」の両方の非用であることが可能であろう。[29] [30] の動詞「描写する」「叙述する」の誤用は中国語の言い方をそのまま転移されてきたものであり、中国語では「文章描写了～」「小説叙述了～」というふうによく能動文でかつ抽象的な動詞を使うのが好むのに対して、日本語では「文章」「小説」など無生物名詞は主語になれず、非修飾語になる場合は連体修飾語である動詞は必ず受身形でなければならない。また、日本語は動詞の場合は「描写する」「叙述する」のような抽象的な意味を持つサ変動詞の使用というより、具体的な動作を表す動詞「書く」の使用がより自然になるのであろう。
- ②「①+アスペクトの非用」は [29]－[32] 4つあり、「非用」の40%を占めている。[31] のようなアスペクトの過剰使用もあるし、その他はアスペクトの不使用もある。つまり、学習者はアスペクトである「現在の状態」とテンスをあらわす「未来のこと」や「過去のこと」をはっきり分けられず、混用しているのであろう。

[29] 描写します	→ 書かれています
[30] 叙述した	→ 書かれている
[31] 表すなる	→ 表現されている

③「①+②+なる」の過剰使用が独特なもので、[31]「表すなる」、[32]「漫画化になる」、[33]「理解なる」の3種類のものがある。「理解なる」は言葉の誤形式で、「漫画化になる」は「名詞+化」の名詞動詞化の使い方の問題で、動詞化された名詞のサ変動詞の用法が把握していないことによる誤用であろう。「表すなる」はまた言葉の誤形式であるが、「理解なる」の「名詞（サ変動詞漢語）+なる」の形とは違って、他動詞「表す+なる」の誤形式で、「表す」を名詞扱いにした誤用のように考えられる。

①-③はいずれも日本語学習の初級段階の「品詞」を間違う言葉の誤形成によるもので、学習時間が伸びるにつれてなくなっていくであろうと推測できる。

[33]は①-③の誤用のほかに、補助動詞の非用の問題があるが、それは、副詞「だんだん」の使い方と関連している。つまり、「だんだん」は変化している趨勢を示すもので、ここでは将来の変化を表す補助動詞が使われる「ていく」の用法が要求される。この誤用は学習者の「だんだん+変化動詞+ていく」の用法未習得によるものであろう。

### 3.3. 受身の贅用

受身の贅用は、動詞の使用に問題がなく、「れる・られる」の過剰使用による誤用である。誤用形態としては、受身マーカーの過剰使用や、その上にテンス・アスペクトの誤用などその他の誤用が出る場合、補助動詞の非用と可能の非用など他の非用による誤用が見られる。

[表 11]: 受身の贅用 (1年未満)

	贅用の形態	αの形態	誤用例文数
贅用	V + ●		3
	V + ● + α	テンス・アスペクトの誤用	3
		可能の非用	1
		(A + B) の過剰使用	1

注：A = V、B = れる・られる

## ① V + ●

- [34] 起きた被害は、私たち人間にも〈及ばれて→及んで〉います。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(142))
- [35] 私はそんな風景に感動〈された→しました〉。桜の人生は短くても、豊かです。私はこれからも生きて生きたいと思いました。(男/学部1年/学習歴半年/作文0001(22))
- [36] もし100万円が当たったら、私はたくさんの夢を〈実現される→実現する〉ことができます。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(9))

## ② V + ● + テンス・アスペクトの誤用

- [37] 自然環境によって、青空があつて、水や空気が〈汚れられない→汚れていない〉ことです。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(102))
- [38] おおぜいの方は私の考えを〈知られます→知っています〉。自分の考えは現実の生活にあります。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(44))
- [39] でも、長時間そんなことをしたら、健康にとって悪いし、時間を浪費〈された→する〉し、あまりよくないと思います。だから、私は平日にできるだけ、ゲームをやめようと、その決意をしました。(男/大学1年/学習歴1年/滞日歴0年/自己紹介/0094)

## ③ V + ● + 可能の非用

- [40] もし、お金はほかのことも〈されます→できます〉、私は日本とアメリカへ旅行したいです。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(27))

## ④ (A + B) の過剰使用

- [41] 日本語を勉強するとともに、日本の文化や知識もしっかり勉強します。たとえば、日本の熱帯魚が〈抱かれた→〇〉たくさんいるレストラン。(学部1年/学習歴半年/滞日0/作文0055)

[表 12]: 「受身の贅用」の誤用内容 (1 年未満)

	贅用の形態	動詞	修正	「他の誤用」の内容
1. [34]	及ばれて	及ぶ	及んで	自動詞 (自他対応)
2. [35]	感動された	感動する	感動しました	自動詞 (単一)
3. [36]	実現される	実現する	実現する	他動詞 (自他同形)
4. [37]	汚れられない	汚れる	汚れていない	自動詞 (自他対応) アスペクトの非用
5. [38]	知られます	知る	知っています	他動詞 アスペクトの非用
6. [39]	浪費された	浪費する	浪費する	他動詞 テンスの誤用
7. [40]	される	する	できる	他動詞 可能の非用
8. [41]	抱かれた	抱く	○	他動詞 動詞と受身の過剰使用

自動詞の誤用が受身誤用の 4 分類の中で、贅用だけにあり、しかも、自動詞の使用は 38% となっている。アスペクトの非用も 25% を占めている。テンスの誤用は 13%。また、「れる・られる」の過剰使用と同時に、[40] のように可能の非用、[41] のように動詞と「れる・られる」両方の過剰使用が見られる。

[34] [35] [37] は自動詞の受身形の過剰使用による誤用である。[34]、[37] は非情主語で、述語動詞は他動詞の受身形が要求されているが、例文には他動詞が使われておらず、自動詞の受身という誤用になってしまった。[35] は有情主語であり、能動文であるはずだが、中国語の発想のままで、「私が感動された」(我被感动了) となってしまった。自他動詞は中国語にはない。中国語では一項目である動詞が日本語では自動詞と他動詞と二項目に分かれているので、難しい学習内容となるはずである。また、「感動する」のような対応する他動詞がない自動詞や、「及ぶ」「汚れる」のような有対自動詞があるので、状況が一層複雑になる。日本語の受身文を作る時、特に自他動詞の使い分けが重要なポイントになることから、「私が感動された」のような被害や迷惑の意味がない自動詞受身文の誤用が出てくるのが分かることであろう。ただし、「私たち人間にも及ばれています」「水や空気が汚れられないことです」は自動詞文「私たち人間にも及んでいます」「水や空気が汚れていないこ

とです」でも他動詞受身文「私たち人間にも及ぼされています」「水や空気が汚されていないことです」でも意味だけを考えればあまり違いがなく、両方よく使われているが、「私が感動された」は動詞が感情自動詞なので、受身文にはなれない。日本語の視点は話者の「私」にあるので、能動文の「私は感動しました」か受身使役文の「私は感動させられた」でなければならない。つまり、これらの誤用例文は中日両言語の文法項目の分節の違いによる誤りだけでなく、中国語と日本語の発想や視点の相違とも関連している誤りであろう。

### 3.4. 受身の謬用

受身の謬用は、「動詞の誤用」と「れる・られる」の過剰使用の誤用が同時に存在している誤用形態である。「動詞+受身マーカー」の誤用が主な形であり、「その他の誤用」は「謬用」では見られない。誤用例文は次の3例に限る。

[42] そして、学長は私に子供に授業をしてくれないかと、〈しられました→言いました〉。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(193))

[43] たくさんの体験〈が記念されました→をしました〉。(女/学部1年/学習歴3ヶ月/滞日0/作文(84))

[44] 好きなものと言えば、私は博愛の人なので、いろいろなすきなものがあります。各方面に〈覆われます→渡ります〉。(男/大学1年/学習歴1年/滞日歴0年/0075)

[表13]: 「受身の謬用」(×+●)の誤用内容(1年未満)

	謬用の形態	誤用動詞	修正	「他の誤用」の内容
[42]	しられました	知る?	言いました	動詞の意味選択
[43]	体験が記念されました	記念する	体験をしました	動詞の意味選択 慣用表現の誤用
[44]	覆われます	覆う	渡ります	動詞の意味選択

[42] [43] は他動詞文で、動詞の誤用は主に「動詞の誤選択」のような問題である。また、主語は [42] は有情主語、[43] は非情主語である。「受身

の過剰使用」、「動詞の誤用」以外に、[42] [43] とともに「論理的誤用」、「慣用表現の誤形成」が見られる。

[42] の動詞「知る」と「言う」は基本語彙なので、両方とも習得範囲内の動詞であることから見れば、また誤用文の意味が通じないことから、[42] の誤りはミスに近い誤用であろうと考えられる。[43] の「たくさんの体験が記念されました」も [42] と同様、論理的に、或は意味的に通じないので、日本語学習の最初の段階では、このような文法や意味用法による誤りは一時的なものであることを考えたい。これについては、ほかの学習段階の謬用誤用例文を調べてみた結果、このような誤用が存在していないということが分かり、推測が間違っていないことを証明できた。[44] 「好きなものは各方面に覆われます」は趣味の及ぶ範囲のことをいう時の中日表現の違いによる誤用である。中国語ではよく「我的爱好很广」「我的兴趣广泛」という。つまり、自分の趣味を言う時は、「趣味の及ぶ範囲が広い」というふうに評価性の言葉を使うが、日本語では、自動詞の「渡る」を使い、話の重点を結果や事実に着けているのであろう。

#### 4. 結論

以上の分析から次のような結論を得ることができた。

- (1) 日本語学習歴が1年未満の学習者の受身誤用の主要形態が [表 2] のように明らかになった。
- (2) 誤用形態は受身4分類に分けられ、「受身の欠用」が55%を占め、その次は「受身の非用」と「受身の贅用」でそれぞれ20%、18%を占める。「受身の謬用」は7%である。
- (3) 受身の不使用では欠用という「れる・られる」の脱落が最も多く、半分あまりを占め、また受身の非用は2割で、受身の贅用は2割弱である。不使用が誤用全体の8割近く(75%)あり、最も顕著な誤用形態となる。次は「テンス・アスペクト」の誤用問題も目立ち、全体の39%を占めている。動詞の誤用は、27%程度にとどまり、誤用が出る要素の一つであろう。
- (4) 誤用原因としては、中日言語の主語認識の違い、視点や発想の違い、文法項目の分節の違い、言葉学習の未熟、ミスなどの状況が考えられる。

## 5. 今後の課題

- (1) ほかの学習段階の受身誤用実態の調査と分析を行う。
- (2) 学習歴別の誤用実態を把握したうえで、全体の誤用実態を見る。
- (3) 学習歴別の誤用傾向の関連性を見る。
- (4) 誤用の化石化の可能性を考える。

## 注釈

<sup>1</sup> 関西学院大学教授于康先生が開発された『YUK タグ付き中国語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.3 (テキスト版) の一部を用いる。『YUK タグ付き中国語話者日本語学習者作文コーパス』は于康先生が2014年から中国国内の大学40校から集められた誤用データで構築された大型日本語学習者作文コーパスである。本研究は、ご提供のこの大型コーパスにある「受身誤用文」を調査用データとする。于康先生に感謝の意を表したい。

<sup>2</sup> 詳しい分類の方法とその分析は史兆紅『中国の大学における日本語学習者の受身の誤用分布の実態調査』(近刊)を参照。

<sup>3</sup> 誤用例文には大学名があるが、ここで明記しないことにする。

<sup>4</sup> 中国語では、一般的に主語が省略できない。また、「(在)～里」は存在文としてなり立つが、例えば「学校里有很多树(学校には木がたくさんある)」、または「他站在教室里(彼は教室に立っている)」のように動作を行う場所を表すが、[4]はこの二つの状況とは違う。特に動作を行う場所を表す場合は、中国語では主語(動作主)がなければ意味が通じない。また、[5] Bの「学校里有时(会)举办各种活动」は「学校」が場所であるため、存在文の意味に近く、「このような状況がある」というニュアンスが読み取れる場合がある。